

# 農 研 速 報

平成 26 年 7 月 2 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

作物名(大豆)

| 県 名             | 生育ステージ  |      | 生育の状況  | 問 題 点 | これまでに講じた対策<br>及び今後の方針   |
|-----------------|---|------|--|-------|---|
|                 | 本 年   | 平年対比 |  |       |   |
| 茨 城 県<br>(龍ヶ崎市) | タチナガハ<br>納豆小粒<br><br>第 1 本葉<br>展開期<br>(7 月 1 日時点) | 平年並  | <p>1)調査品種 :タチナガハ<br/>納豆小粒</p> <p>2)耕種概要 :6 月 19 日播種<br/>11.1 株/㎡<br/>畦間 60cm×株間 15cm、1 本立<br/>輪換畑圃場 3 年目(前作麦)<br/>N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=0.3:1.2:1.2(kg/a)</p> <p>3)生育概況<br/>播種後、気温・積算降水量・積算日照時間が平年並であったことから(龍ヶ崎アメダスデータ。データ略)、出芽、生育とも良好である。出芽期はタチナガハが 6 月 24 日、納豆小粒は 6 月 23 日となった(写真 1)。</p> <div data-bbox="736 1118 1088 1417"> </div> <div data-bbox="1133 1118 1485 1417"> </div> | 特になし  | <p>●中耕・培土●<br/>・雑草の生育抑制および倒伏防止を目的として、1 回目の中耕・培土を第 4 本葉展開時に子葉節まで行う。</p> <p>・2 回目は第 7 本葉展開時に初生葉節まで行う。</p> |

写真 1 7 月 1 日撮影(播種後 12 日) 左:タチナガハ、右:納豆小粒